

i バス見直し路線の変更

小田急バス株式会社から、平尾地区を循環するCコースのソコラ若葉台の裏を運行するコースにおいて、カーブ部分において対向車とのすれ違いに支障を来すため、常時誘導員 2 名が必要である見解が示されました。見直しコースは小田急バスに年度初めから案を提示して調整したものであり、既に議会などにも報告している内容であることや、誘導員の配置は費用的にも現実的ではないことから、その他の代替措置（バスの接近を示す機器やカーブミラーの設置、路面表示等）を講じることで、運行を行ってもらえるように協議を進めましたが、小田急バス株式会社からは、当該部分を運行するには誘導員の配置以外の対応策は無いとの見解が強く示されました。このことを踏まえ、影響を最大限抑える変更案について協議し、以下の案で市民代表者合同検討会およびバス事業者検討会で意見がまとまりましたので、本変更案を稲城市地域公共交通会議において提示するものです。

変更前



変更後

